

相馬高校新地農業部（畜産，園芸充実） 250万円
 中小家畜の飼育ならびに温室園芸を中心として施設設備を充実強化
 猪苗代高等学校農業科（畜産充実） 200万円
 放牧酪農経営を中心とした施設設備の充実強化

3 主な施設設備の概況

- (1) 工事請負費 16,729,000円
 牛舎，豚舎，鶏舎，果樹選果場兼貯蔵庫，ブドウガラス室，温室，等
- (2) 施設費 7,497,000円
 乳牛，豚（ランドレース，ヨークシャ，パークシャスピードスプレーヤー，移動式動力薬剤散布機，四輪車，冷凍，冷蔵機，等
- (3) 備品費 8,368,000円
 農民車（5台）自動耕うん機，育すう器，冷却殺菌機，牧草刈取機，乾燥機，ミルカー，チョッパー，ボイラー，等
- (4) 教職員研修等 2,021,000円
 畜産，園芸関係教員20名を派遣して，新しい経営技術，栽培，飼育技術の習得をはかり，資質の向上を期した。

研修期間 30日

研修派遣先 北海道大学（畜産学）
 酪農学園大学（酪農）
 神奈川県畜産試験場（養鶏，養豚）
 農林省園芸試験場（野菜園芸温室園芸）
 千葉大学園芸学部（果樹園芸）

その他

委託料，施設手数料，旅費等農業経営を企業化し省力化するための，施設設備の充実を期し，地域のセンターとしての性格を果すところに，農業高校体質改善の目標があり，本県農政の一翼を果しつつ，農村振興に寄与するため，若い中堅技術者に新しい農業経営の使命を把握せしめ，その活躍を期待する。

第17節 定時制通信制教育

定時制通信制教育産業教育ことに勤労青少年教育に対する教育推準を向上させようとする考えが学校教育法の1部改正となり，細則が施行されて実施に1歩を踏み出した点において画期的な年といえる。

- (1) 定通教育研究会総会ならびに研究協議会
 昭和37年5月16日飯坂婦人会館で開催，教育次長出席のうへ，昭和37年度定通教育の行事，定通教育本来の使

命教育計画，指導計画について研究協議した。

とくに教育次長から後期中等教育についての講演があり，深い感銘を受けた。

- (2) 研究協議会ならびに第11回東北地区高等学校定時制通信制教育振興会総会，大会。

○第14回東北地区高等学校定時制教育

昭和37年6月11～13，14～15日にわたって研究協議会においては

ア 現下定時制教育の諸問題について

イ 夜間定時課程の諸問題について

を主題として，独立校の問題，市町村立高校運営，卒業認定に関する措置，標準法，生徒の生活指導，就職の機会均等についてなど多くの角度から討議され，各県の現況等と合せ活発な研究協議が行なわれた。

なお振興会においては，教職員の4割国庫負担，管理職等待遇改善問題，夜間照明についての特別措置等について討議され，関係機関等への陳情等の措置をとることが決定された。

定時制教育の現状が施設設備の不備を克服し，かつ生徒の心身の状況，学習時間等困難な多くの問題を包蔵しているなかで地域社会の理解ある協力が大きな効率を示していることが痛感された。

- (3) 市町村立高等学校研究会

昭和37年7月25日，桑折釀芳高等学校を会場として県下10校，県教委藤藤管理主事，芳賀指導委員出席のうへ，学校管理運営，生徒指導，地域との連けい等問題点を研究協議した。特に施設設備の充実策については今後一層の拡充を期したい。

- (4) 夜間部会

昭和37年7月25日，川俣高校において開催され，安井部会長を中心として独立校の問題，生徒の身心管理，教職員の勤務等夜間高校運営の困難な多くの問題点について研究協議した。各学校とも施設設備の充実を力を入れ夜間環境，整備の向上がみられた。

- (5) 定時制分校研究協議会

昭和37年10月12～13日，白河農工高校矢吹分校において開催，労働力不足が叫ばれた農村に働く青少年を対称としての教育について，教育課程，指導方法，H，Pの指導，分校運営上の問題点が提出され活発な研究協議が行なわれた。

なお，教育次長が出席，本県分校設置状況，運営方法等についての講演があり先生方の熱情ある教育道への歩みについて期待するを強調された。

- (6) 生活体験発表大会昭和37年12月7日福島農蚕高校において県下4方部予選通過代表者によって大会がもたれそれぞれ勤労と学習の困難性を克服しつつ毎日勉学に励む姿を体験の中から発表し，多くの感銘をあたえた。